

平成 30 年 5 月 21 日

海技研は OTO' 18 に出展致します

報道関係者 各位

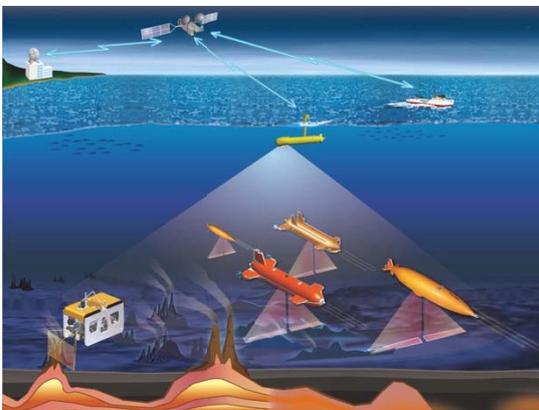
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（所長 宇都正太郎）は、平成 30 年 5 月 29 日から 5 月 31 日まで神戸国際展示場で開催される「Oceans Techno-ocean 2018（OTO' 18）」の展示会に出展いたします。

海上技術安全研究所では、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において「AUV 複数運用手法等の研究開発」を実施しており、航行型 AUV 4 機、ホバリング型 AUV（「ほぼりん」）、洋上中継器（ASV）の開発を行い、複数 AUV を同時運用する技術を確立しました。

展示会場では、複数 AUV により実海域で海底地形や水温、塩分濃度等の調査を行っている状況のビデオを上映するとともに、各 AUV、ASV を知って頂くために、それらを精巧に再現した「1/10 スケール模型」を展示致します。

本プログラムで開発した AUV、ASV を、海底地形の詳細な調査はもとより、港湾施設の点検、水産資源量の調査など、海に関する幅広い分野での活用が期待されています。

- 展示場所：神戸国際展示場 2 号館 〒650-0046 神戸市中央区港島中町六丁目 11-1
- ブース No：R （ <https://www.techno-ocean.com/oto-18-1> ）



AUV 複数同時運用イメージ



海域調査出動前の状態

なお、海技研のAUVの研究成果は、同時に、神戸国際会議場（有料エリア）で開催されるOTO' 18)のテクニカルセッションにおいて、5件の発表を行います。

• 5/30 8:30-10:10 「Ocean Resource exploration Technologies 1」
Deployment of the AUV HOBALIN to an Active Hydrothermal Vent Field with an Improved Obstacle Avoidance System (Akihiro Okamoto et. al.)

• 5/30 10:10-10:10 「Ocean Resource exploration Technologies 2」
Detection of small hydrothermal vents by low-altitude seafloor exploration of a hovering-type AUV "Hobalin" (Masahiko Sasano et. al.)

• 5/30 15:30-17:10 「Vehicle navigation 3」
A new ROS-based operation software for an autonomous underwater vehicle HOBALIN and its test in real sea (Takahiro Seta et. al.)

• 5/31 13:30 - 15:10 「Remotely operated vehicles 1」
Realization of the ASV Remote Operation by Digital Convenience Radio (Shogo Inaba et. al.)

• 5/31 13:30 - 15:10 「Vehicle design 1」
Sea trials of a high maneuverability compact autonomous underwater vehicle (Takumi Sato et. al.)

さらに、海技研のAUVについて、特に小学生の皆様にご覧いただくために、OTO' 18の前（5月27日）に開催されるパブリックプログラム「新発見！！海のせかい教室」において、紙芝居師なっちゃんによる「水中ロボット「ほばりん」の紙芝居」を10:30から11:00に上演致します。

（こちらは事前申込み制です <https://www.techno-ocean.com/oto-18-3>）。是非、展示会場に足をお運び頂き、取材いただけますと幸いです。

※AUV 自律型無人潜水機 (Autonomous Underwater Vehicle)

ASV 洋上中継器 (Autonomous Surface Vehicle)

■ 取材に関するお問い合わせ/お申し込みはこちらまで

海上技術安全研究所 企画部 広報係

電話： 0422-41-3005 FAX: 0422-41-3258

メールアドレス：kouhou@nmri.go.jp